

# 石狩市の新たなる挑戦

～自動配送ロボットによる次世代を見据えた地域づくり～

北海道石狩市



# 石狩市の概要

面積 722.33km<sup>2</sup> (南北約70km)

人口 57,760人 (令和5年9月末現在)

交通 石狩湾新港までは札幌駅から車で約30分



昭和47年に着手した「石狩湾新港地域開発」は、北海道の流通拠点として発展

開発規模 3,022ha 立地企業760社 / 就労人口2万人超

札幌駅から 15km / 30分

札幌駅

北海道を代表する産業拠点 石狩湾新港地域

## エネルギー産業集積状況 (建設中・計画中を含む)



# 再エネの“地産地活”を目指す

## REゾーン Renewable Energy Zone



京セラコミュニケーションシステム株式会社との地域連携協定  
再エネを活用した地域活性化を推進

## ●連携協定項目

- ・ゼロエミッションデータセンター事業の検討に係る関係機関との調整、手続等に関すること
- ・立地に係る事業用地の取得、その他これに伴い必要となる支援に関すること
- ・再エネ活用を通じた地域活力の創出に関すること



連携協定締結式

左：田岡前石狩市長

右：京セラコミュニケーションシステム株式会社 黒瀬代表取締役社長



ゼロエミッションデータセンター完成予想図

## 買い物困難者の増加

- ・高齢化率の上昇と北海道特有の都市間移動距離が長い地域特性から、買い物困難者が増加することが予測される

## ユーザニーズの多様化

- ・ライフスタイルの多様化により、ユーザ1人1人の要望に応えることが困難

## 人口減少による配送ドライバー不足

- ・日本全域の生産労働人口の減少
- ・配送ドライバーの労働環境の悪さ
- ・EC市場拡大による配送需要の増加

## 配送に割く時間の短縮

- ・荷物量が多く、配送完了までに時間がかかり、他の業務に時間を割けない
- ・荷物を短時間で捌きたい



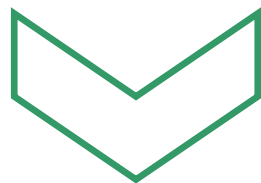
テストフィールド：石狩市

実証実験

新規技術の導入



地域の刺激に



新たな挑戦のきっかけに！



実証実験の様子

石狩市は、本実証にて関係機関や地域との連携を図り、円滑な実証事業への支援を行います



## 研究会の構成メンバー

- 座長 学校法人早稲田大学教授
- 会員 株式会社セコマ  
ヤマト運輸株式会社  
石狩市緑苑台東地区町内会
- オブザーバー 経済産業省 北海道経済産業局  
北海道 経済部
- 主催 石狩市  
京セラコミュニケーションシステム株式会社

## 研究会の目的

石狩市および地域の民間企業や住民の多様な配送ニーズに応えるサービスを開発することを目的とする

## 研究会の活動

- ・多様な配送ニーズに応えられるサービスの仕様検討
- ・配送の実証実験への参加
- ・サービスおよび車体、実証実験に関する評価



- ◆ 地域への理解、連携等の支援
  - ・ 緑苑台東地区町内会住民説明会の実施
- ◆ 地域への愛着醸成
  - ・ 緑苑台地区の夏祭りへの参加
- ◆ 広報活動
  - ・ 広報誌への掲載、チラシの配布



実証実験専用ECサイトの  
注文商品や宅配便をご自宅付近に  
ロボットが配送します！  
最先端の技術をぜひご体感ください。

## 自動走行ロボット 配送サービス モニター募集

実施日程：2023年7月～11月（予定）  
対象：緑苑台東地区にお住まいの方  
LINE友だち登録 + モニター登録完了  
でサービスをご利用いただけます。



ご利用登録はこちら！



# 自動配送ロボットを活用した実証（石狩市緑苑台）



## 自動配送ロボットを活用した地域づくり



利便性を高める  
交通網の形成

利用しやすい  
環境の形成

需要の創出

事業者間の  
データ連系

利用料金の柔軟化  
及び  
キャッシュレス化

新たなサービスの  
推進